



南部町立南部中学校 学校だより R7 第3号

城山の風

令和7年5月8日(木)
校長 樋口 信也

修学旅行に行ってきました

3年生が、4月22日(火)から25日(金)までの3泊4日で修学旅行に行ってきました。

1日目の広島では本場のお好み焼きを食べた後、平和記念公園を訪れました。まず、公園内に入ってすぐにある原爆ドームに目を奪われていました。話や映像などでしか知らなかった戦争や原爆というものを実感として強く感じたのではないのでしょうか。そこから平和の子の像の前に移動し、献鶴式を行いました。修学旅行副実行委員長の岡村智也さんが代表して平和への誓いを読み、千羽鶴を納めた後、全員で黙祷しました。次に、平和記念資料館をグループごとに見学し、最後に被爆体験講話を聞きました。お話ししてくださったのは、12歳で被爆した笠岡貞江さんです。「(大やけどを負った人の様子について)人間の体を虫がえさにする。それが戦争だ。」「どこを探しても親はいなくなった。」という言葉が、体験した人のリアルな言葉として強く印象に残っています。最後に笠岡さんは、「核兵器はいらぬ、戦争は恐ろしいということをお家に帰ったらまわりの人に伝えてください。話し合う、相手を認める、許すことが大事です。広島で学んだことを考えて行動してください。」と話してくださいました。広島訪問により、知識としては持っていた戦争や原爆というものを実感として強く感じたことと思います。



2日目は、奈良の法隆寺と薬師寺を全体見学し、奈良公園内をグループで見学して回りました。法隆寺では、夢殿の救世観音像の春の特別公開が行われており、国宝の秘仏を拝むことができました。

3日目は、子どもたちが一番楽しみにしていた京都の班別自主見学でした。タクシーを使い、伏見稻荷大社、金閣寺、二条城、三十三間堂、北野天満宮など、それぞれが立てた計画に従って見学しました。疲れつつも満足げな様子で宿舎に帰ってきました。

最終日は、建仁寺で座禅体験をした後、清水寺を全体見学しました。座禅では、無心になった人もいろいろと考えた人もいたのではないのでしょうか。

4日間を通して、戦争と平和、歴史や伝統文化について理解を深めました。また、公共のマナーについても体験的に学びました。出かける前よりも人として成長したことと思います。



2年生は県内めぐり

2年生は、4月22・23日の1泊2日で県内めぐりをしました。

1日目は、甲府市内のグループ別自主見学でした。学校からスタート地点である武田神社と昇仙峡までそれぞれバスで行き、そこから徒歩や公共交通機関を利用して、舞鶴城公園、甲府地方裁判所、NHK甲府放送局、印伝博物館などを見学して回り、ゴールの善光寺を目指しました。昇仙峡では雄大な自然を見て回り、NHK甲府放送局ではキャスター体験をしました。どのグループも協力しながら楽しく見学することができました。善光寺からバスに乗り、宿泊場所である朝霧野外活動センターに向かいました。



2日目の午前はオリエンテーリングの予定でしたが、あいにくの雨のため屋内でレクリエーションをしました。そして、お昼は野外炊事です。鍋を使って直火でご飯とカレーを作りました。子どもだけで野外炊事をするのは滅多にないと思います。よい経験になりました。



2日間の活動は、各自が自分の役割を責任を持って果たし、かつ仲間と協力しなければできないことばかりです。今回の校外学習のキーワードは「気づき」でした。山梨の歴史や自然などの魅力に気づく、自分が何をしなければならぬか気づく、仲間の良さに気づく…さまざまな気づきのある県内めぐりでした。